



高浜小だより

令和3年3月24日発行
高浜町立高浜小学校
Takahama elementary school



職員室の窓越しに見える中庭の「コブシ」の花が咲きほこり、春の到来を教えてくれています。そのような中、3月19日に卒業証書授与式を挙げていたしました。ご来賓の方々や保護者の皆様、そして、在校生に温かく見守られる中、39名の子どもたちが本校を巣立っていきました。高浜小学校で学んだことを糧に、中学校という新たなステージで、夢の実現に向け、一步一步焦らず努力を重ね、大きく羽ばたいてほしいと願っています。

さて、本日令和2年度修了式を行いました。修了式では、卒業生に渡す卒業証書の左上に記してある番号について子どもたちに話をしました。この番号は、これまでに高浜小学校を卒業した卒業生の固有番号であり、第1回卒業生からずっとつながっている番号です。本年度までに8,620人の卒業生がいること(現在の高浜町の人口は10,186人、うち高浜地区の人口4,603人)、また、高浜小学校の児童一人ひとりが、高浜小学校の良き伝統を受け継ぎ、この伝統の中にいるということ話をしました。そして、この伝統は、4月に最高学年になる新6年生へと引き継がれていきます。

1年生から5年生は、4月から1学年ずつ進級します。すでにどの学年の子どもたちも次の学年を見据え、しっかりとしてきたように感じる時があります。“自覚”や“責任感”が芽生えてきているのでしょう。子どもたちの日々の成長は小さなものであっても確実です。一年間を経るとやはり大きなものであると感心させられます。

高浜小学校の子どもたちの成長の影には、保護者の皆様や地域の方々の支えがあったことを、私たちは肌で感じています。この一年間、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育推進に格別のご理解とご協力を賜りましたこと改めて厚くお礼申し上げます。



令和2年度のお礼 ありがとうございます

本年度も本校では、コドモノ明日研究所による地域のブランドぶどう「若狭ふじ」の果汁を使った新商品開発をはじめ、農業体験、華道、茶道体験、伝統工芸体験、命の学習、達人に学ぶ文化芸術指導(書道・水墨画)、正月飾り(門松)作り体験、「福祉を学ぶ」学習(介護老人福祉施設とのビデオ交流・高齢者模擬体験)、韓国姉妹校鳴川小学校とのビデオ交流、高浜町未来創造プラン、ゲストティーチャーをお招きした教育講演会、地域貢献活動(スマイルボランティア、ピカピカボランティア)、110番の家、高浜公民館やまちづくりネットワーク主催の各イベントや体験教室、町探検、事業所見学、人権学習、地域歴史学習、新型コロナウイルス感染予防講演会等、たくさんの地域の方々のご協力のおかげで高浜小学校ならではの充実した特色ある教育活動を行うことができました。

保護者の皆様には、登校時の挨拶、安全見守り運動、読み聞かせボランティア、授業参観、環境美化奉仕作業および各学校行事の支援など、本校の教育活動へのご理解とご協力に対しまして、心から感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症予防対策として、毎日校舎内の消毒作業をしていただいた高浜町婦人福祉協議会の皆さん、手作りマスクをプレゼントしていただいた地域の方々、扇風機を寄付していただいた保護者の皆様、猛暑の中、低学年の下校見守りをしていただきました民生委員や令和の会、保護者ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。次年度も高浜小学校は、「地域と共にある学校」「信頼される学校」を目指し、全教職員で取り組む所存です。引き続き皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



【卒業を祝う会】



【1年生・昔遊び(老人クラブ)】

前向きに！ 時には、後ろ向きに！

出勤してすぐに校舎を回って、廊下と教室の窓を開けた後、校門にでて子どもたちと挨拶を交わすのが、私の毎朝の日課になっています。担任の先生は、教室で子どもたちを迎える準備をしています。今週は、3階の6年生の教室に行くと、卒業までの日数を示す手づくりの日めくりカレンダーが、卒業式当日のまま止まっています。それを見るたび、なぜか寂しい気持ちになります。しかし、卒業した6年生はきっと中学校でも、夢に向かってたくましく、そして力強く成長してくれることでしょう。また、1年生から5年生の子どもたちも、それぞれが進級し、新しい学年で活躍してくれると思っています。本年度、最後の学校だよりになりますので、卒業生と進級する在校生へ、はなむけの言葉を書いてみたいと思います。

「前向き」「後ろ向き」という言葉をよく耳にします。「前向き」という言葉は「後ろを振り返らず」、「嫌なことは忘れて」「ひたすらゴールをめざして」などのニュアンスで使うことが多く、励みになるとてもいい言葉だと思います。「前向きに生きてください」。それだけで、はなむけの言葉になりそうですが、あえて今回は、逆の言葉「後ろ向き」について考えたいと思います。

「後ろ向き」、あまり良い印象のない言葉です。「後ろ向きな考えは捨てなさい」だとか「後ろ向きな発言をするな」というように、叱られる時に耳にする言葉です。でも、後ろを向くことは、そんなに悪いことなのでしょうか？

私はある卒業生の影響を受けて、マラソンや駅伝を見るのが大好きです。毎年、お正月の3日間は、駅伝三昧です。マラソンは屋外で行われるので、気象の影響を受ける競技です。中でも風が一番影響します。「向かい風のせいで、スピードが落ちた…」等と記録が伸びなかった時などは、それを言い訳にしています。このように、前から吹いてくる風を私たちは気にしがちです。しかし、風は後ろからも吹きます。後ろから吹く風のおかげで速く走れているときは、風のことには気づかないことがよくあります。どうも、人間は後ろから押してくれるものに鈍感なような気がします。これは私自身の反省でもあります。

日常生活でも同じです。物事がうまく行かない時、「あの人が邪魔をするから」「急に予定が変更になったからだ」などと自分にとって障害となることばかりが気になってしまいます。反対に物事がうまく行っている時は、実は誰かの後押しのおかげなのに、自分一人の力でできていると思いついてしまいがちです。

みなさんに伝えたいのは、「順調な時ほど、後ろを向いてほしい」ということです。うまくできたことで自信は持ってほしいのですが、それ以上に、あなたの前進や成長を後ろから(陰で)支えてくれている人の存在を忘れないようにしましょう。

特に、みなさんの家族の支えです。みなさんが寝ている間(夜遅くまで、朝早くから)も支えてくださっているのです。みなさんが学校で勉強しているときも、家族のために一生懸命に働いておられるのです。みなさんのことを他の何よりも大切に考え、支えてくださっています。それから、友だちの存在も大きいでしょう。友だちと一緒にいるから頑張れるのです。そして、いつもみなさんを応援してくださっている地域の方々、近所の人、そして、先生も…。みなさんの背中を、時にそっと優しく、時に力強く押してくれる人々への感謝の気持ちを大切に、これからの人生を歩んでいってほしいと願います。そして、後ろからくる風に気がついたときに、感謝の気持ちを！

卒業おめでとう！ 進級おめでとう！ みなさんの前途に幸多かれとお祈りします。



【コドモノ明日研究所 新商品開発】



ブランド葡萄「若狭ふじ」のゼリータルト



【コドモノ明日研究所・ぼっぼフジワラ】